

\*\*\*\*\*  
\* Palette-11 (パレット11)の追加情報(配布DISK\_\_Ver.L以降用)\*  
\* '94,03,29 (株)ロジパック \*  
\*\*\*\*\*

+-----+  
| この度はパレット11をお買い上げいただき誠に有難うございます |  
| | |  
| このファイルは取扱説明書に記載出来なかった情報や、お客様からの質問の |  
| 回答、アプリケーション等の最新情報の伝達に使用させていただきます |  
| もし使用時不明な点や質問が有りましたら下記にご連絡下さい |  
| (製品のシリアル番号、ソフトウェアのバージョンを調べておいて下さい) |  
| 電話：0538-32-2822 FAX：0538-34-1082 |  
+-----+

## 1. 追加情報

- 1) PC9801用と東芝J3100用とシャープX68000用及びDOS/V用の区別  
DISK内の<PC9801>、<J3100>、<X68000>、<DOS/V>の各ディレクトリに入っていますのでコピーして使用して下さい。  
J3100用の実行ファイルは全て\*.EXEです  
X68000用の実行ファイルは全て\*.Xです  
DOS/V用の実行ファイルはPT11ATEN.EXEが英語コメントの物、PT11ATJP.EXEが日本語コメントの物で、それ以外は\*.A.EXEです。
- 2) PT11.EXEにコマンドを追加、改善しました(取説も修正済みです)

### 【追加したコマンド】

(V1.4~)

PT11>DIR d:¥xxx<cr> 直接MS-DOSのDIRコマンドを実行します  
PT11>TYPE d:file 直接MS-DOSのTYPEコマンドを実行します  
<HEXファイル名の確認やDISKの空き容量の確認に使用します>  
この機能を使用する場合は必ずカレントディレクトリにMS-DOSのCOMMAND.COMを置くか、立ち上げ時にCONFIG.SYS内にshellを指定して下さい

(例)

shell=c:¥command.com /e:40 /p

( V 1 . 5 ~ )

PT11>E<cr> エミュレ - タ - 書き込み ( 詳しくはマニュアルを参照 )

PT11>G<cr> 連続コンペア ( 詳しくはマニュアルを参照 )

【改善したコマンド】

- 1) D コマンド : ダンプデ - タ右端に A S C I I 表示を追加
- 2) P,W,R,Cコマンド : ファイル名やアドレスを入力時の最後に全パラメ - タの確認の問い合わせを入れました

```

+-----+
|           :           |
|   ROM End address   ( 07FFF)--> xxxx |
|   HEX Offset address(+00000)--> xxxx |
|   Set parameters OK?(CR=Yes/No)-> Y or N (CRはYとみなします)|
+-----+

```

3 ) 東芝 J 3 1 0 0 用について

- 1) 実行プログラムは J 3 1 0 0 用英語 MS - D O S にて使用可能です  
東芝純正の英語 MS - D O S を使用して下さい  
例 : P W S 5 7 9 1 P ( V 3 . 3 0 )  
I B M - P C 用 D O S では R S - 2 3 2 C が正常に動作しない場合があります ( PT11> のプロンプトが出ない、以降 CTRL - C も効かないなど )

- 2) HEXEDJ, HEXSPJ, BIN2HEXJ, S2HEXJ も含めすべてメッセ - ジは英文です

- 3) 日本語 MS - D O S で P T 1 1 J を使用可能にするソフトがあります  
フリ - ウェア ( P D S ) にて , JSHOT.COM, SVT.COM が利用できます  
但し最近の G S 0 0 1 や S X 0 0 1 モデルではうまく動作しないようです

- .....
- ・ J 3 1 0 0 S S ご使用の方へお知らせ
- ・ S S に付属の日本語 MS - D O S で P T - 1 1 J を使用可能な場合があります . COMMAND.COM が '89-08-12 の場合 , 下記のコマンドで英語表示に変更して P T 1 1 J が使えます ( 初期 V e r は不可です , またこれ以降の V e r 及び他のモデルは不可のようです )
- ・ 但しこのモ - ド切替で使用した場合力 - ソル表示が出ません
- .....
- ・ A>MODE A<cr> 英語表示モ - ドになります
- ・ A>PT11J<cr>
- ・ PT11> P a l e t t e - 1 1 コマンドが使えます

- PT11>q<cr> .
- A>MODE J<cr> 日本語モードに戻ります .
- . . . . .

4) DOS / V用について

- 1) 実行プログラムはIBM DOS / V J 5 . 0以降にて使用可能です
- 2) HEXEDA, HEXSPA, BIN2HEXA, S2HEXAのメッセージは英文です

5) HEXSPのセグメント, アドレスを1 / 2にするオプション (-d) について  
(16ビットCPUのプログラムをROM 2ヶに分割する場合などに使用します)

- 1) 使用方法 : A>hexsp d:file -d
- 2) 説明 :
  - 1) 2000:0020の場合 \*.EVN, \*.ODD共1000:0010から
  - 2) 2001:0020の場合 \*.EVN, \*.ODD共1000:0018から
  - 3) 2000:0021の場合 \*.EVNは1000:0011から,  
\*.ODDは1000:0010から

HEXファイルを作成します

- 3) 例 tst.hex 2000:0000(20000H)から5000:ffff(5ffffH)を27512(64KB)  
4個に書き込む場合

操作 : A>hexsp tst.hex -d<cr>

結果 : 10000から2ffffのtst.evn, tst.oddのファイルが出来ます

操作 : PT11<cr>

```
PT11>P tst.evn,0,ffff,-10000<cr>      ROM #1書き込み
PT11>P tst.odd,0,ffff,-10000<cr>      ROM #2書き込み
PT11>P tst.evn,0,ffff,-20000<cr>      ROM #3書き込み
PT11>P tst.odd,0,ffff,-20000<cr>      ROM #4書き込み
```

[注意] ROM #3, #4を書き込む時はHEXファイルの10000Hから1ffffH迄を  
読み飛ばす時間がかかります(64KBで約2.5分)

更に長いファイル等の場合は元ファイルをセグメント切替部で分割  
してからオフセットを付けて書き込んで下さい

分割ファイルにはHEXのエンドレコードを追加します

(分割のサンプル)

元のHEXファイル

```
+-----+
| :20FF0000xx..... |
| :020000024000xx.. | セグメント切替の行で分割する
| :20000000xx.... |
+-----+
```

分割後の前半H E Xファイル

+-----+

| :20FF0000xx..... |

| :00000001FF | H E Xのエンドレコ - ドを追加

+-----+

分割後の後半H E Xファイル

+-----+

| :020000024000xx.. |

| :20000000xx.... |

+-----+

6 ) v 1 . 5 からは高速転送を行なうことができます

高速で転送中はデータをバイナリーで行なうため E S C キーを押しても  
すぐにはキャンセルできません。パレット - 1 1 が受信タイムアップ  
するまで待たなければなりません  
その間は "Palette-11 not ready ...."  
が表示されますが、異常ではありません。数秒後には PT11> の状態  
に戻ります

7 ) R O M エミュレ - タ - について

当社で確認したR O M エミュレ - タ - は " T U システムプロジェクト"  
(tel043-234-8866)の[ E B - 2 5 6 ]です、他のものについては未確認です

7 ) 供給メディアについて ( D I S K Ver H以降)

3 . 5 インチについてはP C 9 8 0 1 , j 3 1 0 0 , A X , I B M - P C 等の  
互換を考慮して 2 H D から 2 D D ( 7 2 0 K B ) に変更しました 2 H D のみ  
の装置をお使いの方は読み出すことが出来ません ご注意ください

8 ) H E X ファイルについて

P T - 1 1 V 1 . 5 からは小文字のファイルにも対応しました  
( 但し , マニュアルモード時は本体が対応していません )

9 ) バッチ処理用オプションの追加

P T 1 1 または P T 1 1 J 起動時 , - X オプションを付けることにより

ブランクチェックで抜けるようになります  
また、バッチ処理の帰り値を設定しました 正常終了時 " 0 " を返し、  
エラー時は " 1 " を返します

#### 10) バ - ジョンの異なるソフトを起動したときの保証

基本的には保証できません 今回は 上位互換がありますが、混乱を避ける  
ために出荷時のソフトを使ってください

## 2. Q & A

### 1) PC9801 / J3100 / DOS / V以外のパソコンで使用可能ですか？

- a . エプソンPC286 / 386シリーズは現在動作不具合の情報は有りませんが、(PC98も同じですが) サードパーティのハードDISKを内蔵してキャッシュプログラムが常駐していると、ROMの読みだし(受信)でデータ抜けが発生した報告が2、3あります(割り込みを数mSマスクしているようです、残念ながら対策はキャッシュを外すしか有りません)
- b . 三菱MAXY-note (AXパソコン)にてJ3100用のPT11Jが動作可能です(但し起動時にRSDRV.SYSをつけてはいけません)  
現在、当社では1モデルしかチェックして有りません
- c . 沖電気のif-386AXではTコマンド時のみ表示した後ハングアップするが、それ以外のコマンドは正常に動作可との情報を得ています
- d . 富士通FMR-10LTにてDOSに付属のTERMコマンドにて下記のフルリモートコマンドを利用してRAMDISKならば正常にリモート可能との情報を得ています

### 2) PC9801 / J3100 / DOS / V以外のパソコンで使用する場合は？

RS-232Cは割り込み受信でXON / XOFF制御で使用して下さい  
XOFF送出後2~3バイトデータがくる場合がありますのでご注意下さい  
通信は9600ボー、8ビット、NOパリティ、1ストップ、XONです

### 3) D(ump), DIR, TYPEコマンド実行中などにCTRL+CをするとPT11を終了してしまうがCTRL+Cの機能を無視出来ないか？

## 【対策】

PT-11.EXE起動時に-Cオプションを付けるとCTRL+Cを無視します

A>PT11 -c<cr>

---

## 2 . フルリモ - トコマンドとプロトコル

以下の説明では v 1 . 4 のものについてですが v 1 . 5 でも使用可能です  
この表以外的高速転送などについては複雑なため公開していません

- 1) 記号の説明 : sssssはStart\_address, eeeeeはEnd\_address, oooooはOffset  
aaaaaはaddress, ddはHEX file data, rrはROM data
- 2) 無指定時の値 : sssss=00000, eeeee=ROM\_size, ooooo=00000になります

---

### 1 ) ===== Palette-11 受信コマンド =====

• RX n<cr>	: eXamine self test	•
• RA <cr>	: Active sense (READY?の問合わせ)	•
• RT [nn]<cr>	: ROM_Type(0..1n), 一覧表の表示	•
• RB [sssss, eeeee]<cr>	: Blank check	•
• RW [sssss, eeeee, +/-ooooo]<cr>	: Write	•
• hex_datas	; HEX_File_end迄	•
• RP [sssss, eeeee, +/-ooooo]<cr>	: Program(Blank+Write+Compare)	•
• RR [sssss, eeeee, +/-ooooo]<cr>	: Read	•
• RC [sssss, eeeee, +/-ooooo]<cr>	: Compare	•
• hex_datas	: File_end迄	•
• (CAN)<cr>	: W,C,Rコマンド実行中の中断要求	•

### 2 ) ===== Palette-11 からの送信メッセ - ジ =====

/* R == PC9801 remote command ACKnowledge parameter) */		
• RX OK<cr>	: eXamine OK	•
• NG<cr>	: eXamine NG	•
• RA <cr>	: Active sense の応答	•
• RT OK nn	: ROM_Type OK	•
• romtype = nn<cr>	: ROM_Type一覧表の表示	•
• RB OK badrs-eadr<cr>	: Blank OK	•

- NG aaaaa:rr<cr> : Blank check OK/ERROR:aaaaa,rr (ROM) •
- RW OK badrs-eadrs [sum = XXXX]<cr> : Write OKとSUMデ - タの表示 •
- NG aaaaa:dd-rr<cr> : Write NG:adres:data:romdata(ROM) •
- RC OK badrs-eadrs [sum = XXXX]<cr> : Compare OK •
- (RR) hex\_dadas(:00000001FF<cr> : RR の応答 •
- (^Z)<cr> : MS-DOS file close •
- /\* [R] ::= PC9801 remote command(request return parameter) \*/ •
- /\* [R] ::= PC9801 remote command(request return parameter) \*/ •
- RR OK [sum = XXXX]<cr> : SUMの表示 •
- . . . . .

3 ) ===== P C 9 8 0 1 < - - > P A L E T T E 1 1 プロトコル =====

	PC9801	data_direction	PLT-11	: comment
-----				
1)	RX 1	-->		:テスト(n)要求
		<--	RX OK	:テスト完了OK/NG
2)	RA	-->		:READY問合せ
		<--	RA	:READY応答
3)-1	RW 00000,01000,00000	-->		:書込み要求
	:10000000112233..ss	-->		:書込みデ - タ送信
		<--	XON/XOFF	:2 K B 単位でXOFF/XON送出
	:20001000212223..ss	<-->	RW NG	:書込み不良発生,中断
3)-2	(CAN)	-->		:任意,不良時送信中断
				:コマンド待になる
3)-3	:00000001FF	-->		:正常送信終了の場合
3)-4		<--	RW OK	:書込み完了
4)-1	RR 00100,00200,00000	-->		:読みだし要求
4)-2		<--	:2001000041424344..ss	:デ - タ送出
	XOFF/XON	-->		:XOFFで送出停止,XONで再開
4)-3	(CAN)	<-->	:2001200041424344..ss	:受信中断要求
4)-4				:送出中止後コマンド待
4)-5		<--	:00000001FF	:送出正常終了の場合
4)-6		<--	(^Z)	: File_end(MS-DOS EOF)
4)-7		<--	RR OK	:
6)-1	RP 00000,01000,00000	-->		:Blank+Write
6)-2		<--	RB NG	:Blank不良発生,以降中止
6)-3	(CAN)	-->		:Blank中の任意中断
6)-4				:Blank中止後コマンド待
6)-5		<--	RB OK	:Blank正常終了,書込み待
6)-6	:20002..ss	-->		:デ - タ送信,書込み
6)-6	:00000001FF	-->		:正常送信終了の場合
		<--	RW OK	:終了

(注意) (CAN) = 18H, (^Z) = 1AH

- 1) Rコマンドは必ずREADY問合せ(RA), 応答(RA)確認後に実行する
- 2) 書込み不良が発生した場合, PLT-11はRW NG..を送出して書込みを中止する  
P C 9 8 はRW NGを受信すると(CAN)を送信して終了する

- 3) PLT-11はRW,RR,RCコマンドの処理中に(CAN)を受信した場合は適当な区切りで (HEXファイルの1行程度) 処理を中止し(CAN)又はRA迄受信データを破棄する (CAN)時には何もデータを送出しない
- 4) フロ - 制御はXON(11H) / XOFF(13H)で行っている
- 5) ホストからPLT-11にHEXデータ送出中にPLT-11がNGを送出する場合有り

4 . ===== PC9801 キ - 入力 / コマンドファイルのコマンド =====

[ ]内が無い場合デフォルト値または問い合わせ方式になります

? <cr>	:Help	コマンド一覧表の表示
T [nn]<cr>	:ROM Type	一覧表の表示又は番号セット
B [sssss,eeee]<cr>	:Blank	消去済みのチェック
W [fname,sssss,eeee,+/-oooo]<cr>	:Write	書込み
P [fname,sssss,eeee,+/-oooo]<cr>	:Program	ブランク+書込み+比較確認
R [fname,sssss,eeee,+/-oooo]<cr>	:Read	読出しとファイル書込み
D [sssss,eeee,oooo]<cr>	:Dump	読出し, 表示のみ
C [fname,sssss,eeee,+/-oooo]<cr>	:Compare	比較確認
ESC	:Cancel	コマンド実行中の中断
K	:Key_pause	何かのKey入力で次行実行
DIR [Drive_path]	:MS-DOS DIR	コマンドの実行
TYPE file_name	:MS-DOS TYPE	コマンドの実行
Q	:QUIT	終了してシステムに戻る

-----  
追伸 :

- 1 . より良い製品を供給出来るよう、今後も努力いたしたいと考えております  
皆様の屈託のない御意見、御希望等を同封のハガキまたは電話、FAX等でお寄せ下さるようお願いいたします
- 2 . もし他のパソコンでパレット11のコントロールソフトを作成される方は  
PC9801用Turbo-C(V2.0c対応)のソースを実費にて提供可能です、御連絡下さい

以上